

基礎泌尿器学

科目到達目標: 1) 泌尿器系の発生と構造を説明できる。
 2) 腎臓の機能とその調節について説明できる。
 3) 蓄排尿の機序を説明できる。
 4) 腎臓作用薬の薬理作用を理解する。
 5) 泌尿器疾患の病理を説明できる。

科目責任者(所属): 松尾 聡(適応生理学)

連絡先: 0859-38-6041

回数	月日	時限	講義室	授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	6/12(金)	1	122	・対面授業	泌尿器系(腎臓)の構造	棕田 崇生	解剖学	腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配・発生を説明できる。	腎臓、尿管、膀胱、尿道、腹膜後器官、腎動脈、交感・副交感神経、陰部神経、前腎、中腎、後腎
2	6/12(金)	2	122	・対面授業	泌尿器系(腎臓)の構造	棕田 崇生	解剖学	腎臓のネフロン各部の構造と機能を概説できる。	腎小体、糸球体、ボウマン嚢、輸入・輸出細動脈、近位尿細管、ヘンレのループ、遠位尿細管、集合管、糸球体傍装置
3	6/16(火)	1	122	・対面授業	酸塩基平衡	松尾 聡	適応生理学	酸塩基平衡の調節機構を概説できる。腎機能の全体像を概説できる。	ヘンダーソン・ハッセルバルヒ、呼吸性調節、腎性調節、緩衝作用、重炭酸系、アシドーシス、アルカローシス、尿の生成
4	6/22(月)	1	122	・対面授業	腎臓の機能	松尾 聡	適応生理学	腎糸球体の濾過機序を説明できる。	糸球体濾過量、腎血漿流量、濾過率、有効濾過圧、原尿、クリアランス
5	6/22(月)	3	組織系	・対面授業	組織学実習	海藤 俊行 棕田 崇生 小山 友香 濱崎佐和子	解剖学	腎臓の組織構造について光学顕微鏡で判別できる。	腎小体、糸球体、ボウマン嚢、輸入・輸出細動脈、近位・遠位尿細管、ヘンレのループ、集合管、糸球体傍装置
6	6/22(月)	4	組織系	・対面授業	組織学実習	海藤 俊行 棕田 崇生 小山 友香 濱崎佐和子	解剖学	尿管、膀胱、尿道の組織構造について光学顕微鏡で判別できる。	移行上皮、粘膜固有層、筋層、外膜
7	6/26(金)	2	122	・対面授業	腎臓の機能	松尾 聡	適応生理学	尿細管各部の再吸収・分泌機構と尿濃縮機序を説明できる。	再吸収、分泌、最大輸送量、対向流、アルドステロン、ADH
8	6/29(月)	3	122	・対面授業	腎臓の機能	松尾 聡	適応生理学	腎に作用するホルモン・血管作動物質の作用を説明できる。	バゾプレッシン、アンギオテンシン、レニン、アルドステロン
9	6/29(月)	4	122	・対面授業	腎臓作用薬	今村 武史	薬理学・薬物療法学	腎臓作用薬の作用機序、薬理作用を理解する。	利尿薬作用点、電解質、排泄と再吸収、副作用
10	7/6(月)	3	122	・対面授業	尿管・膀胱・尿道の構造と蓄排尿の機序	今村 武史	薬理学・薬物療法学	尿管・膀胱・尿道の構造と蓄排尿の機序を説明できる。	尿管、膀胱、尿道、蓄尿、排尿、抗コリン薬、 α ブロッカー、 β 刺激薬
11	7/6(月)	4	122	・対面授業	膀胱・尿道・前立腺の機能異常	弓岡 徹也	腎泌尿器学	神経因性膀胱と下部尿路症の概要を理解する。	神経因性膀胱、前立腺肥大症、下部尿路症
12	7/7(火)	1	122	・対面授業	体液と電解質	松尾 聡	適応生理学	体液の量と組成・浸透圧について成人と小児を区別して説明できる。水・電解質の調節機構を概説できる。	体液、細胞外液、細胞内液、浸透圧、視床下部、ADH

教育ブランドデザインとの関連: 2、3、4、5

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連: 1、2、3

授業のレベル: 3

評価: 筆記試験を実施する。試験の配点は、講義時間数に応じて行う。筆記試験83%、組織学実習17%とする。

実務経験との関連: 無し。

教科書: プリント配布。組織学実習: ROSS組織学(南江堂)または組織細胞生物学(南江堂)。